



株式会社リソー教育
代表取締役社長
(東京都少年サッカー連盟特別顧問)

天坊 真彦

東京都選抜少年サッカー大会に出場する選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、「TOMAS CUP」という形でこの大会を応援しています。今年で34回という長い歴史を持っているこの大会は、後にJリーグで活躍した選手が小学生のときに出場したこともある伝統ある大会です。そのような大会を私たちがサポートして今年で14回目になりました。長年にわたってサポートできることは、私たちにとってもとても嬉しいことで、また誇りに思います。私たちリソー教育(TOMAS)もこの大会と同じく創立34年目を迎えています。同じ誕生年を持つものとして、これからもお互い発展していけるよう頑張っていきたいと思います。

さて、この大会に出場する選手の皆さんは、東京都の各ブロックから選抜された選りすぐりの精鋭たちであると聞いています。これは、皆さんの日頃の努力の賜物であり、また、非常に幸運なことでもあると思います。皆さんは日々のトレーニングを通じて、技術の上達だけでなく、チームワーク・フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・思いやり・友情・様々な人への感謝といった大切なことをたくさん学んできたことなのでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとっては、勉強ももちろん大切ですが、おけいこ事・習い事やスポーツに打ち込むことも大切です。それらを通じて様々な目標に、正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。そうした考え方をもとに、私たちは今年の「2018FIFAワールドカップロシア」日本代表の武藤嘉紀選手を応援しています。彼は小学生の頃、TOMASに通いながら勉強もサッカーも頑張って、この選抜大会にも出場しました。世界的な選手になった今でも、「強烈な努力」を座右の銘とし、厳しい練習の後に語学を毎日数時間勉強しています。私たちリソー教育グループは、武藤選手のような子どもたちを応援したいという想いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援を始めとする社会貢献活動に取り組んでいきます。

さあ、「TOMAS CUP」の開幕です。チームの勝利のために、ゲーム終了のホイッスルが鳴るまであきらめることなく、ボールを追いつける皆さんを見るのが楽しみです。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。



東京都少年サッカー連盟
委員長

吉貴 雄二

第34回を迎えた「TOMAS CUP 東京都選抜少年サッカー大会」も稲城市中央公園総合グラウンド、稲城長峰ヴェルディフィールドを会場にして開催します。東京都全域で日々活動し、優れた技術をもった選手たちが、所属するブロックの代表として集まりました。

今回から大会参加選手が8人制3ピリオド(全選手入替え)の24名から20名に変更になりました。第1ピリオド、第2ピリオドは8名全員が交代し、第3ピリオドは、未出場の4名プラス、1ピリオド、2ピリオドに出場した選手の中から4名が参加して戦います。

また、16ブロック(女子ブロック)選抜は、今までのブロック内での選考でなく、1ブロックから15ブロック所属女子選手も選考会に参加し「東京女子U-12選抜」を作りました。

多くの選手がこの大会で、技術はもちろん、リスペクトの精神をはじめ、たくさんのことを学び取り、将来に向けて心身ともにたくましく、心豊かな人間として成長してほしいと思っています。

6月から始まっている「2018:ワールドカップ ロシア大会」では、リソー教育OBの「武藤 嘉紀選手(1.FSV マインツ05/ドイツ)」が初のワールドカップ日本代表に選出されました。予選リーグを勝ち抜き決勝トーナメントに進出してくれる事を信じて応援しています。

終わりに、選手の為この大会をご後援いただきますリソー教育グループに深く感謝申し上げ、また、会場を提供していただきました、稲城市、稲城市サッカー連盟、大会運営役員、チームの指導者、さらにご父兄の皆様と、多くの方々のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。